

解説動画でポイントをわかりやすく伝える！ —生徒のニーズに合わせた動画作成①—

A 先生の事例

模擬試験をはじめとする試験は、解けなかった問題を確認して復習をしなければ、試験を受けた意味が半減してしまいます。そこで、模擬試験ごとに解説動画を作成しています。生徒は、解けなかった問題の解説動画を指定のフォルダからダウンロードして、試験の復習をします。板書や話し方など、常により効果的な動画になるよう心掛けています。大学のように、動画の事前視聴を前提にした反転授業の実施を目指すなど、解説動画の可能性に目を向けて、1人1台端末を活用したいと考えています。

<取組内容>

はじめは、紙に解説を書いて、それを学習用パソコンで撮影していましたが、生徒から「黒板で解説をしてほしい」という強い要望が出たため、黒板を用いた講義形式の解説動画を作成するようになりました。大問1題を2本の動画に分けて収録しています。動画には、問題の解説だけでなく、勉強全般のポイントや、数学を学習する上で意識すべきポイントなど、普段の授業では伝えきれない思いものせて、配信しています。

メッセージを込めて



ゆくゆくは反転授業も

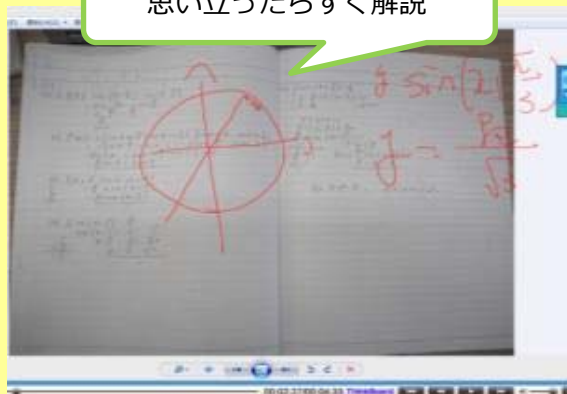
B 先生の事例

定期考査や模擬試験の後に、大問1題あたり3~5分程度の解説動画を作成しています。定期考査前には、対策問題と共に解説動画も作成して、生徒に示します。生徒は必要に応じて動画を見ながら、考査前の学習に取り組みます。また、考査や模試の後は採点を通して感じた所見や留意点なども動画に盛り込み、復習に利用できるようにしています。生徒から提出された課題にも解説動画を作成して、個別に指導しています。

<取組内容>

学習用パソコンに取り込んだプリントやノートに書き込み、解説します。また、添削指導にも動画を活用します。生徒は解いた問題を写真で提出します。写真上に朱を入れながら口頭説明を加えた添削動画を作成します。動画を見て家庭学習している生徒も多く必要な解説動画のみ視聴することができる点が生徒に好評です。授業時間を割くことなく指導が可能なので先生も生徒も時間を有効に活用することができます。

思い立ったらすぐ解説



学習用パソコンの画面全体を使って解説

C 先生の事例

授業だけでは十分に理解できない生徒に対応する必要性を感じて定期考査前に解説動画を作成するようになりました。質問がある生徒を放課後に集めて、空いている教室で黒板を使って解説します。質問に来た生徒が、解説を聞きながら、学習用パソコンのカメラ機能を使って撮影してくれます。教員は「同じ質問に対する解説を何度も繰り返すことなく、個別支援ができる」、生徒は「都合のいい時間に解説動画を視聴して、自学学習できる」という利点があります。

<取組内容>

動画を作り始めた当初は、机の上に置いたプリントに書き込んで解説するスタイルでしたが、生徒が飽きてしまうので、板書による今のスタイルに変えました。通常授業と同じ目線で学習できるので、生徒にも好評です。動画が長くなると生徒は見なくなってしまったので10分以内の動画をたくさん作るように心掛けるなど、授業だけでは十分理解できない生徒に対する個別支援を主な目的に、解説動画作成を行っています。

難問も簡潔に解説



自習にも対応